

## 自主企画・開催地企画のご案内

1. 地酒の会【22日(土) 21:00 - 23:00 定員 40名程度】

毎年恒例の地酒の会、群馬支部が誇る愛飲家がセレクトした銘柄を取り揃えてお待ちしております。記念講演師の水野さんの俳句ワークショップも企画中です。参加希望者はお酒の差し入れ、またはカンパ 1,000 円のご協力をお願いします。
2. 上毛かるた大会【22日(土) 21:00 - 23:00】

群馬県の郷土かるた「上毛かるた」は昭和 22 年に作られ、毎年、予選を勝ち抜いた強豪による県大会が開催されます。あなたも群馬に来たらプレイしなきゃ！読み札も「日本で最初の富岡製糸」「伊香保温泉日本の名湯」など全国的に有名なものから「老農 船津伝次平」(誰、それ?) みたいなローカル色豊かなものまでバラエティに富んでいます。上毛かるたのページ(財)群馬文化協会) <http://www.jomokaruta.org/>
3. 伝統に育む江戸小紋 藍田正雄さんを囲んで【23日(日) 18:00 - 】

今年の大会は上州、上州と言えば養蚕そして絹織物の産地で有名です。かつて日本の重要な産業であり、現在は日本を代表する伝統工芸の一つ・織と染。そんな発想から、地元で日本の伝統工芸を守り、継承することに情熱を傾けていらっしゃる作家(職人)をお招きします。

藍田正雄さんは高崎市で江戸小紋染の伝統工芸士として活躍され、伝統工芸展で数々の受賞があり、海外でも日本の伝統工芸を紹介する活動を精力的に続けています。温かいお人柄でも知られる藍田さんの江戸小紋染への情熱をゆっくり聞かせていただく予定です。

8月23日の18時から、皆さまのご参加をお待ちしています。(担当:大日方祥子)
4. 群馬県の明治期理科教育【23日(日) 18:30 - 】

群馬大学図書館本館で所蔵する明治期教科書の整理・分析にあたられた玉置豊美先生(群馬大学非常勤講師、明治期教科書研究会会員)より、群馬県女子師範学校郷土研究室が収集した使用済み教科書などから分かった、明治期に群馬県でどういう理科教育が行われていたのかなどをお話しいたします。

群馬大学所蔵明治期教科書紹介ページ <http://www.madlabo.com/mad2/meiji-text/>
5. 二百年以上続く集落の年代記【23日(日) 20:00 - 】

群馬県吾妻郡中之条町上沢渡の反下(たんげ)集落に残されている「永宝年代記」は、1802年から現在まで足かけ3世紀に渡り記録され続けています。この驚きの事実を、落合延高先生(群馬大学社会情報学部)にお話しいたします。
6. オプション企画【24日(月) 大会終了後】
  - (1) 群馬大学総合情報メディアセンター図書館(荒牧本館)見学  
耐震改修し、4月にリニューアルオープンした図書館を見学します。(路線バスで移動します)
  - (2) 群馬県立文書館見学  
書庫などを見学します。「永宝年代記」の複製を所蔵しています。(タクシーで移動します)